



KUSHIRO WEST ROTARY CLUB 2016~2017 (平成 27 年~28 年)

# 釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和 45(1970)年 6 月 8 日 承認 昭和 45(1970)年 6 月 10 日

2016~2017 RI テーマ 「人類に奉仕するロータリー」



《例会日：毎週月曜日 12：30~13：30》

《例会場：ANA クラウンプラザホテル 釧路市錦町 3-7》

会長 小泉 和史 幹事 松田 正昭

■クラブ事務所■

釧路市幸町 14 丁目 1-1 ノースコートサンスイ 2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

《本日のプログラム》 6 月 12 日 12：30

## 普通例会

会員名簿：当時と今のロータリー、クラブ活動について (石川員) 担当：クラブ幹事

《次回のプログラム》 6 月 19 日 12：30

## 普通例会

理事・役員、委員長退任あいさつ 担当：理事会

2017年6月12日(月) 第42回 通算2185回

【点 鐘】 小泉会長

【ロータリーソング斉唱】 上杉会員



「我らの生業」

【会長挨拶】 小泉会長



みなさん、こんにちは。先週 7 日(水)は次年度の理事会に参加をさせていただきましたが、理事者の欠席者も少なく表敬訪問、予算、プログラム、データーの共有化など議案にそって最終チェック段階に入っており、間違いなく 7 月からは良いスタートができることを確信させていただきました。また、6 月といえば釧路市内小学校の運動会時期となりますが、26 校中ほとんどが 11 日と 18 日に分かれており、昨日は延期になったみたいですが、お孫さん、子

皆さんの応援に行かれる会員も多いのではないのでしょうか。今日は、石川パスト会長に昔のロータリークラブのお話をさせていただきますので、のちほど卓話の方をよろしくお願い致します。以上で会長挨拶終わります。

【幹事報告】 松田幹事



- ・厚岸ロータリークラブより、5月の例会報告ならびに6月例会プログラムの案内。
- ・釧路市より、「平和都市推進委員会」定期総会の議案案内と議事録。
- ・同じく釧路市より、7月4日の日程で大楽毛ハマナス修復事業の案内。後日、地域発展委員会よりあらためてご案内が参りますが、当クラブの年間公式事業の一つとなっておりますので、多くの会員のご協力をお願い申し上げます。

【委員会報告】

◎親睦活動委員会 桜田委員長



【ニコニコ献金】

- ・入会記念…三木会員
- ・奥様誕生…吉田会員

【本日のプログラム】 担当：クラブ奉仕

◎会員卓話

当時と今のロータリー、クラブ活動について 石川会員



平成7年	69名	当時と今のロータリー・クラブ活動についてというテーマでお話ししなければならないのですが、私とロータリー入会について少しお話ししたいと思います。私がロータリークラブが存在するとはっきり認識したのは昭和61年にゲストスピーカーとして釧路ロータリークラブへ呼ばれたことがきっかけでした。なんで呼ばれたかと言いますと。今や誰もが少しは知っている、スペインのバルセロナにあります、サグラダファミリア聖教会の設計者であるところのアントニオ・ガウディの映画を自主上映をしようと当時の設計事務所の集まりである月曜塾で実施いたしました。その後釧路RCからお声がかかりまして、のこのこ出向いたわけで、ところが食事としては、円卓の真中にご飯の御櫃がありまして自分で盛るシステムでとても緊張した記憶があります。昭和63年の2月に入会させてもらった昭和63年2月に入会させてもらったわけですが37歳の時で早28年もたってしまいました。釧路RCの事がトラウマになり入会は来週の月曜と聞かされていたのですが、あの緊張感がいやでいやで入会式をスпойルしてしまいました。次の週には観念して出席しました。が今考えると迷惑を掛けたのだなという気持ちでいっぱいです。
8年	71名	
9年	75名	
13年	57名	
14年	54名	
15年	47名	
16年	51名	
17年	45名	
18年	40名	
19年	42名	
20年	37名	
21年	31名	
22年	32名	
29年	28名	

まず初めにシニアアクティブ制度の撤廃についてですが。1970年に一定の条件を満たせばシニアアクティブ会員に自動的に移行することが決定いたしました。当クラブ2001年に撤廃実施され、これによりロータリーの金看板で有るところの制度上の一人一業種制は、崩壊したわけです。当クラブでは平成10年に女性会員の入会を認め歴史的には6名の女性会員が在籍しておりましたが、現在は在籍1名となっております。ハードルを低くすることによって、新しい会員を確保する目的だったのでしょうか。こののちハードルがどんどん低くなり、後で語りますが、最後にはハードルは無くなってしまうのです。

特に変わった点を申し上げますと、2001年の規定審議会で会員の種類が正会員と名誉会員に統合されるとともに、1人1業種による職業分類制度が廃止され、50人以下のクラブは5名、それ以上の会員数を持つクラブは、10%以内の同一職業分類を持つ同じカテゴリーに属する職業は、10%以内という制限も撤廃されました。ロータリーの本質を変える極めて遺憾な決定と言わざるを得ません。しかしながら1968年多くのクラブから寄せられる非難に対して、RI理事会は、一方的に職業分類表の管理を放棄し、その作業をクラブに任せるという処置にでました。クラブの自治権の拡大と言えはきこえはいいですが、ロータリー運動を成立させる、必要条件の一つある一人一業種の前提となる職業分類を、クラブの自由にすることは、RIの直接管理権の放棄として、その責任は重大と言わざるを得ません。

紋別港 RC のパストガバナーの小野パストガバナーは、会員卓話の中で次の様なコメントを述べております。

断崖絶壁に立つロータリー

大河の流れは、方向を見失う。

2016年の規定審議会で、ロータリーは歴史的な方針変更をいたしました。その代表的な事項は会員身分と例会についてです。クラブの裁量権が大きく広げられクラブの裁量権に従って、最善のルールを決定することになります。平たく言えば、誰でも会員になれ、しいて、言うならば家庭の専業、主婦。例会も2回あるいは、1回でもよいというRIの驚くべき柔軟なせい입니다。私達日本のロータリアンにとっては、驚くべき決定と言えましょう。日本の多くのロータリアンにとって、ロータリーは、誕生以来、試行錯誤を通じて、奉仕哲学を根底に置く、社交クラブに発展し、それを誇りに倫理運動を続けている団体と理解しております。

そして、会員資格について厳しい決まり、つまり例会への出席、会費の納入等、多くの義務が課せられます。また、入会には、クラブ会員全ての賛同が必要で、そのための社会性や品性も問われるのです。ロータリアンとしての誇りは、この時から生まれ育っていきます。その厳しい決まりが大きく緩和され、もしかしたら入会する人物についてもクラブ例会も全く問われず、クラブが存続して行くのです。ロータリーの高邁な思想、それに基ずく社会へ、人への奉仕活動はやがてカゲ薄れ、奉仕哲学なしのロータリーに墮落してゆく可能性があります。

## 追いつめられるロータリー

私は、これは絶対に許されるべきでは無い。もし、こんな緩んだ考えが許されるなら。日本のロータリーは、あるいはクラブの中には、RIから脱退するケースも生まれるだろうと思います。こんな墮落したロータリーになんて、籍を置く意味が無いともおもいました。しかし、冷静になって考えると、ある意味、ロータリーは既に、断崖絶壁に立っているのだと思います。会員の減少は、目を覆うばかりで、特に先進的な国、地域でロータリーの会員が減少し、クラブが衰退してゆくのが現状です。世界全体的には、122万人以上を維持しておりますが、この中には、入会してすぐ退会する人、又は簡体に入会するため、会員すうだけは増え続けるクラブも多いのです。ロータリーにとって、最大の危機を迎えるのは、これからです。危機とは会員の減少です。このままでは、会員数の減少により、維持できないクラブが続出する可能性があります。またロータリーの組織そのものが力を失いRIは地球を俯瞰した奉仕事業を続けられなくなり存在感無きロータリーになって行きます。ロータリーは追いつけられているのです。

## 既に先達の遺産を食い潰した。

そう考えれば、RIが会員、例会の持ち方に大幅な規制緩和を行い、組織全おいわ体を維持しようとする考えが、自然に行き着く当然の決定と言わざるを得ません。従ってロータリーは、断崖絶壁に立たされている。と思うのですロータリーは、時には大河に例えられます。最初は小さな流れ、水たまりだったものが、周囲からの小川や、湧水が集まり、次第に明確な流れに変わり、やがて堂々たる大河に成長するように、ロータリーもまた、同じ状態を経て世界的な組織に成長したのです。しかし、成長の勢いが持続したのは、実は30年程と言えます。ロータリーが見る見るうちに米国内、世界に広がって行った勢いの強い時期は、実は、ロータリーの奉仕思想が、成熟に向け懸命な努力をしている時期でした。1923年のセントルイス大会で

の決議 34 号でロータリーは、成人に達したというのが一般的です。しかしそれ以降は特に第 2 次世界以降は、ロータリーは、成長を停止し、それでもロータリー哲学を心に、一定の奉仕活動が出来たのは、過去の先達の遺産を食い潰してきたからです。そして、100 年という節目を経過した今日、ロータリーという大河は、本流からはなれて他方に流れる川が本数を増してゆきます。堂々とした大河の流れは、実に心許ない、勢いを失いかけた川になってきております。曲がり角にきたロータリー、砂漠の砂に潜って、姿を消そうとしているロータリーこのままでは、大河は消滅してしまうかもしれません。

## 大河は、永遠に流れ続ける。そのためにこそ努力こそ大切

ですが、それでいいのでしょうか。縁あって、ロータリーの奉仕哲学に触れる幸運を得た私たちロータリアンは、このロータリーという大河を守り、維持し世界の平和に、思想の面からアプローチしなければなりません。それがロータリーというレガシーを受け継ぐ私達の責任で有りましょう。川の流れが細くなっても、深ささえあれば、川は存続するでしょう。その深さとは、何か先達が追い求め、遂に到達した、ロータリーの奉仕思想です。R I がどのような手段を取ろうとも、私達は、ロータリーの教えをしっかりと守り、次の人へバトンを渡さなければなりません。

以上ですが、何か R I と対決しネガティブな話でしたが、これは、全国のロータリアンが考えていることだと思います。

### 【次回例会のご案内】

6 月 12 日（月） 12：30～ 担当：理事会

◎理事・役員、委員長退任あいさつ

### 《例会運営委員会》

6 月 12 日 在籍数 29 名 「編集：三木委員」

出席者 16 名 欠席者 13 名 出席率 55.17%

会報委員長： 三木 克敏 副委員長： 杉野 史和

委員： 大場 恵治 那知 哲 坂口 裕二 菊地 康平 高田 智弘 小栗 直也